

令和8年9月3日

山都町長 坂本 靖也 様

山都町議会議長 飯開 政俊

令和8年9月3日日開会の令和8年第3回山都町議会定例会において、下記のとおり質問の通告がありましたので、通知します。

記

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 1 7 番 眞原 誠	1 ふるさと納税の再開について	
	(1) 制度の内容、ルールについて再度確認する（これまでと今後）。	政策推進課長
	(2) 上記に対する対応策は。	政策推進課長
	(3) それら対応策の準備状況は。	政策推進課長
	(4) ふるさと納税の利用者（寄付者）について町ではどう分析しているか。	町長
	(5) 返礼品の役割は。	政策推進課長
	(6) ふるさと納税に対する町の戦略を確認する。	町長
	2 令和8年熊本地震による経済的な2次被害について	
	(1) 山都町における経済的な2次被害の状況は。	商工観光課長
	(2) 政府の打ち出している支援パッケージの中に「なりわいの再建」について確認する。	商工観光課長
	(3) 町独自の支援策は。	町長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	3 山都町の林業振興について (1) 山都町の林業経営体の数は。従業員の総数もデータがあれば示して欲しい。 (2) 林業の生産額について、これまでの推移と現状、今後の見通しは。 (3) 里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金とはなにか。活用の実績は。 (4) 総合計画や森林・林業ビジョンには造林未済地の課題や基盤整備についての記載がある。美しい森林づくり基盤整備交付金とその実績も併せて、説明を。 (5) タケノコや椎茸などの林産物について、町の方針は。 (6) 林業振興から、若い世代の人口減少の歯止めを狙っていくことはできないか。	林業振興課長 林業振興課長 林業振興課長 林業振興課長 林業振興課長 町長 町長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 2 8 番 西 田 由 未 子	1 防災のとりくみについて (1) 緊急指定避難所の備蓄、エアコン設置、トイレの洋式化等の進捗状況と、今回の避難所開設において、雑魚寝避難ではない取り組みがなされたのか、説明を求める。 (2) 避難者数として数えられるのは、指定避難所に行かれた人数のみ。避難所指定されていない地域の公民館、自宅、車での避難者の把握や困りごとの聞き取り、支援物資を届かせる山都町の仕組みについて、説明を求める。 (3) ペット同伴避難所が実際に利用できるための環境整備についての考えを問う。	担当課長 町長
	2 住みたくなる、住み続けたくなる町づくりについて (1) 住宅政策、子育て支援政策、保育所、義務教育学校を総合的に考えた取り組みについての基本的考え方の説明を求める。 (2) 蘇陽地区における買い物支援と、住宅政策をどのように進めていくのか、旧蘇陽病院跡地の利用をどう考えているのか、具体的取り組みの説明を求める。 (3) 住宅政策において、民間活用を含めたサブリースを進めていくことや地元業者の積極的な活用の考えがあるか、説明を求める。	担当課長 町長 教育長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	3 上益城5町のごみ処理施設建設予定地の造成について (1) 平成29年に建設候補地を募集し、選定にあたっては適正評価結果が報告されている。その内容について、評価基準、点数、点数化されない重要な事項、上野の土地が火山灰地質であることは検討されているのか説明を求める。 (2) 好ましい条件として、土地の形状、地質が整備に適していることとある。今回盛り土の改良の必要性があり、令和8年の地震による地盤への影響の精査が必要でもある。また、幹線道路に近く搬入路が確保できることという条件もあるが、今回の地震でも近くの道路の陥没や巨石の崩落があった。それでもここでの建設を進めていく理由の説明を求める。 (3) 建設予定地の土地造成にかかる概略予備設計の中で、造成費用の概算が約40億円となっている。今後追加費用が必要になるものについて説明を求める。 (4) 西側斜面は擁壁を造らなくてもいいとされているが、豪雨時のことは考えられているのか。そもそも財政難を理由にしているのに、それだけの費用をかける必要性があるのか、説明を求める。 (5) 令和7年度の5町のごみの量はどれくらいだったのか。そもそも5町の一般ごみを減らし、それを安全に処理していくことが目的である。燃やさないごみ処理についての検討はしているのか、説明を求める。	担当課長 町長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 3 2 番 境 公 夫	1 地域協力について	
	(1) 山都町合併時、役場職員による地域班が結成されていたが、現在はどうなっているのか。	担当課長
	(2) 町内在住や町出身者の職員は日頃より地域に於いて、行事や会議等で協力頂いているが、町外出身者の職員の地域への関りはどのような位置づけになっているか。	担当課長
	(3) 町内出身者以外で、町外在住の職員の割合はどれくらいか。	担当課長
	(4) 地域班の位置付けについてどのようにお考えか伺いたい。	町長
	2 役場組織について	
	(1) 現在山都町に於いては防災に係する業務は総務課内の防災係で担当されているが、近年の災害事例をみると、山都町でも、多くの災害が発生している。防災業務が多岐に及ぶ現状を踏まえ、防災業務の充実、有事の際の対応、また職員の負担軽減等考えると、危機管理課の設置が必要ではないかと考えるが。	町長 担当課長
	3 蘇陽地区の買い物支援について	
	(1) 一般質問に多々あるが、蘇陽地区のスーパーマーケット等の誘致についての現状を伺いたい。	町長 担当課長
	(2) 蘇陽支所内への誘致についての話を聞いたが、可能なのか。	町長 担当課長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	(3) 個人の方による蘇陽地区移動販売が計画されている。移動販売支援事業補助金を活用されると思うが、後払いのため事業開始の資金調達に苦労されていると聞く。また資金調達が出来なく、事業を断念された方もいるのではないか。蘇陽地区の買い物事情は急速に改善しなければならない問題である。そのためにも、事業開始のための補助金等を事前に交付出来ないか。	町長 担当課長
	4 清和・蘇陽地区のタクシーについて (1) 現在清和、蘇陽地区には午後5時以降タクシーがなく、特に自家用車等交通手段がない高齢者の方は大変困っておられる。夜体調を崩し病院へ行きたいが、救急車を呼ぶ程でもなくとも、救急車を呼ばなくては交通手段がない。浜町や五ヶ瀬からタクシーを呼べば、高額な回送料が掛かかる。デマンドタクシーを指定されている業者への夜のタクシー営業再開の要望を町からする考えはないか。	町長 担当課長
	5 清和・蘇陽地区のグランドデザインについて (1) 本年3月に通潤橋周辺、また総合体育館パスレル周辺の運動施設等グランドデザインが完成し、多くの方が活用され、また多くの観光客がお見えになり、賑わっており、大変嬉しい事である。次は清和、蘇陽地区のグランドデザインについてどの様にお考えか伺いたい。	町長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 4 10 番 矢仁田 秀典	1 令和8年熊本地震について (1) 山都町の被災状況とその対応は。 (2) 町水道水の濁りの原因と対策は。 (3) 小一領神社そばの井戸を防災井戸にする話があったがどうなっているか。 今回使われたか。 (4) 山都町の被災が大きかった時の対策は出来ているか。 国による物資のプッシュ型支援システムは職員に浸透しているか。この受入れの人手は足りているか、足りなければどうするか。 (5) 2次的被害についてはどう考えどう対処するつもりか。 (6) 町外の被害が大きかった地域への対応はどうしているか。	担当課長 副町長 町長
	2 ふるさと納税について (1) 第3者調査委員会は何処まで聴き取りされたか把握しているか。 (2) 第3者調査委員会の報告をどう受け止めたか。 (3) 一年後の再開はどう進めるつもりか。	担当課長 副町長 町長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	3 予約型タクシー(デマンド型タクシー)について (1) 現在の利用状況と評判はどうか。 (2) 問題点と改善策はどうなってるか。	担当課長 副町長 町長
	4 移動販売について (1) 現在の利用状況と売り上げ、採算性はどうか。 (2) 問題点と改善策はどうなってるのか。	担当課長 副町長 町長
	5 坂本町長が描く山都町について (1) 予算配分を含め、何処に重点をおき どういう町づくりを進めるつもり か。 (2) 企業誘致は進める気が有るのか。有 れば、どんな方法で進めるのか。	副町長 町長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 5 5 番 東 浩昭	1 過年度農災の進捗状況について (1) 令和3年農災～令和7年農災の進捗。 (2) 令和7年農災の発注（完了）の見通しは。 (3) 令和7年農災の自力復旧事業の進捗は。	町長 担当課長
	2 過年度公共災の進捗状況について (1) 令和3年公共災～令和7年公共災の進捗。 (2) 令和7年公共災の発注（完了）の見通しは。	町長 担当課長
	3 令和8年熊本地震による農地等の災害について (1) 件数・金額は。 (2) 申請状況は。 (3) 併せて、梅雨前線による被害等含。	町長 担当課長
	4 令和8年熊本地震による公共土木施設の災害について (1) 件数・金額は。 (2) 併せて、梅雨前線による被害等含。	町長 担当課長
	5 各年度の農災の補助率について (1) 令和5年から令和7年の補助率は。 (2) 令和8年熊本地震の補助率は。	町長 担当課長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 6 6 番 坂 本 幸 誠	1 通潤橋ミエルテラスについて (1) 通潤橋前の上段駐車場について、法面を下から2 mくらいは伐採してあったが、残りはされていない。全体を伐採することはできないか。 (2) 通潤橋前の下段駐車場について、史料館の前まで車を乗り入れできないが、その苦情はないか。 (3) 整備されたミエルテラスについて、観光客の感想はどうか。	町長 担当課長 町長 担当課長 町長 担当課長
	2 御船町に建設予定の上益城廃棄物処理施設について (1) 上益城郡5 町による一般廃棄物処理施設から産業廃棄物処理施設も含める計画に変更されたのはなぜか。また、この計画変更のメリットを示していただきたい。 (2) 敷地造成工事費4 0 億円のうち4 分の1 の9 億5 千万円が、盛土工になっている。この数量が2 9 万立方メートルで単価が3, 3 0 0 円である。盛土工の単価が高い理由を示していただきたい。 (3) 通常、地盤が強い所を建設予定地を選ぶべきなのに、土壌改良が必要なところに作る必要性を聞きたい。また、建設予定地の隣が、熊本県土砂災害特別警戒区域となっている。建設場所を見直す必要があるのではないか。 (4) 広域連合で予定地を購入してあるが、購入金額を示していただきたい。また、これを公開しない場合、その理由を示していただきたい。	町長 担当課長 町長 担当課長 町長 担当課長 町長 担当課長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	(5) 現在、熊本市に一般廃棄物の処理を委託しているが、これを継続すれば新たに施設をつくる必要はないのではないか。 熊本市の処理施設に確認したところ、一般廃棄物の処理能力は600t、それに対して実処理量は519t、この内、上益城分は10%の52tということである。	町長 担当課長

一般質問通告一覧表

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
NO. 7 1 番 梶 原 甲 亮	1 人口減少下における労働供給制約と自治体経営について (1) 過去5年間ににおける職員採用及び退職の状況について、職種別の応募者数・採用者数及び若年層を含む退職者数の推移を示されたい。 (2) 人口減少が進む中、行政・民間を問わず、募集しても必要な人材を確保できない「労働供給制約」の時代に入っていると認識しているか。 (3) 今後、必要な人材を十分に確保できない状況が想定される中、現在の行政機能を将来にわたり維持できると考えているか。また、人材不足によって維持困難となる業務や行政機能について、将来的なリスクを把握・分析しているか。 (4) 人材確保の努力だけでは対応できないことを前提に、限られた人的資源を必要な行政機能に集中させるため、事業・業務の廃止・縮小等を含む「引き算」の行政経営へ転換する必要があるのではないか。町長の認識を伺う。	町長 担当課長 町長 担当課長 町長 副町長 担当課長 町長
	2 相続を契機とする土地・建物の管理・利活用について (1) 相続後も利用・売却が困難な不動産や、相続人間の意見がまとまらず利活用が進まない土地・建物について、町にはこれまでどのような相談が寄せられているか。また、町としてどのような課題が多いと認識しているか。	町長 担当課長

質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
	(2) 空き家バンクの窓口において、相続や所有者間の調整ができていないことなどにより、売買や賃貸に進めないケースがあると聞く。こうしたケースを含め、現在の窓口や町の体制では対応が難しい課題にはどのようなものがあるか。 (3) 今年度予定されている空き家等実態調査やその後の所有者意向調査について、空き家の数や状態を把握するだけでなく、農地の目標地図などの情報と照らし合わせながら、地域ごとの土地・建物の課題や活用の可能性を把握し、今後の施策につなげていく考えはないか。 (4) 相続をきっかけとした土地・建物の問題については、空き家、農地、森林、移住・定住など、それぞれの分野で個別に対応するだけでは解決が難しいケースもある。新たな組織や事業を増やすのではなく、既存の取組や情報を関係部署で共有し、地域ごとの課題に対応していくことが必要ではないか。町長の見解を伺う。	町長 担当課長 町長 副町長 担当課長 町長 副町長